

水稻本田用殺菌剤

オリゼメート[®]パック

プロベナゾール..... 24.0%
鉍物質等..... 76.0%
〔ドデシル硫酸ナトリウム（PRTR・1種）..... 2.95%〕

農林水産省登録 第19539号

【毒性】普通物 【有効年限】4年 【包装】(50g × 20パック) × 8

●特長

10a当たり20パックで、オリゼメート粒剤と同等の薬効、持続期間が期待でき、省力防除が可能です。

●適用病害および使用方法

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	プロベナゾールを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病	小包装(パック) 20~26個 (1~1.3kg)/10a	収穫14日前まで	2回以内	水田に小包装(パック)のまま投げ入れる	2回以内 (移植時までの処理は1回以内)
	もみ枯細菌病	小包装(パック) 20個 (1kg)/10a				



(平成28年7月6日現在の登録内容)

●効果・薬害等の注意

- 小包装(パック)に使用しているフィルムは水溶性のため、ぬれた手で作業したり、降雨等で破袋しないようにする。
- 本剤は水溶性フィルムで小包装した製剤をそのまま、10アール当たり20~26個の割合で水田に投げ入れる。

- 湛水状態(湛水深3~5cm)で投げ込み散布し、散布後は少なくとも4~5日間はそのまま湛水状態を保ち、田面を露出させたり水を切らしたりしないように注意し(葉害)、また散布後7日間は落水、かけ流しはしない。
- 砂質土壌、漏水田では使用しない(効果・葉害)。
- 予防的散布が有効で、葉いもちでは初発の7~10日前、穂いもちでは出穂の3~4週間前が使用適期である。
- 藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となるので使用をさける(効果)。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 有効年月内に使用する。
- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきる。

●安全使用上の注意

- 本剤は水溶性フィルムで小包装化されているため、通常の使用方法ではその該当がない。ただし、濡れた手で触らない。
- 水溶性フィルム包装が破袋した場合は以下の点に注意する。
 - ①眼に入らないように注意する(刺激性)。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。 
 - ②かぶれやすい人は取扱いに注意する。 

付着した場合には直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 漏出時は保護具を着用し掃き取り回収する。
- 移送取扱いはていねいに行う。

魚毒性等…養魚田では使用しない(魚類)。

散布後は、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。

保管…密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、冷涼・乾燥した所。湿気に注意する。使い残りは外袋を密封して保管する。加圧されると包装材フィルムが劣化するおそれがあるので、下積みにしない。

火災時の…火災時は適切な保護具を着用し、水・消火剤で消火に努める。
措置